

一乗谷朝倉氏遺跡に係る奈良文化財研究所との長期の連携研究について

〔テーマ〕

- ・一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術の確立

〔連携研究の相手方〕

- ・(独)国立文化財機構 奈良文化財研究所

〔意義〕

- ・遺跡の保存技術は、国内では奈良文化財研究所のみが保有。
- ・福井県が奈良文化財研究所との連携研究により、遺跡の保存技術を保有すれば、自治体では全国初の事例。
- ・確立された一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術は、全国の史跡・名勝等の保存対策の基準となる。

〔体制〕

- ・研究を進めるに当たっては、奈良文化財研究所の研究員を本県に派遣。
- ・一乗谷朝倉氏遺跡資料館に共同調査・研究体制を構築。

〔今後のスケジュール〕

- | | |
|-------------|-----------|
| ・令和元年12月24日 | 連携研究協定締結 |
| ・令和2年度まで | 事前調査 |
| ・令和3～7年度 | 連携研究（5年間） |

※奈良文化財研究所

- ・奈良には多数の古建築や古美術品が残ることから、これらを総合的に研究することを目的に昭和27年に設立
- ・国が管理する特別史跡平城宮跡、特別史跡藤原宮跡など貴重な遺跡の保存技術について研究を重ねている国内唯一の研究機関